## 施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	地域医療推進室	職	室長	氏名	北川 龍郎
評価者	組織	地域医療推進室	職	室長	氏名	北川 龍郎

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現北 (年度)	犬値 (年度)	評価
施策1	医師の確保と資質の向上	能登北部自治体4病院における医師充足率	%	H19比增 (H24)	93.0 (H22)	98.6 (H23)	А
施策2	医療連携体制の整備	地域連携クリティカルパス活用医療機関数	医療圏-医 療機関数	H19比増	4-39 2-4 2-13	4-48 2-4 2-12	В
				(H24)	(H22)	(H23)	

H19:84.2%

上段:脳卒中パス

H19:-

中段:急性心筋梗塞パス

下段:糖尿病パス

		施策のほ	目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対	ける主な取り組み			評価	
施策		課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現 <b>)</b> (年度)	犬値 (年度)	事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の 有効性	今後の 方向性
施策1	課題1	医師確保対策	能登北部自治体4病院における医師充足率	%	H19比增 (H24)	93.0 (H22)	98.6 (H23)	1 医学部進学セミナー開催事業	医学部進学希 望者	500	500	В	継続
			(H19:84. 2%)					2 寄附講座設置費	金沢大学 金沢医科大学	210,000	210,000	А	継続
								3 臨床研修医確保対策事業	医学生·臨床研 修医	1,800	1,800	А	継続
								4 ふるさと石川の医療を守る人材ネック ク推進事業	ワー 本県出身の県 外在住医師等	1,500	1,260	В	継続
								5 女性医師就業継続支援事業	女性医師	4,000	3,200	В	継続
								6 緊急医師確保修学資金貸与事業	金沢大学医学 類特別枠生	60,000	60,000	В	継続
	課題2	特定診療科医師の確保	小児医療に係る医師数(H18:170人)	%	H18比增 (H24)	174 (H22)	— (H23)	1 地域医療支援医師修学資金貸与事	*** 小児科・産科・ 麻酔科医・外科	14,400	14,400	В	継続
施策2	課題1	医療機関連携の強化	地域連携クリティカルパス活用医療機関数	医療圏-医 療機関数	H19比増	4-39 2-4	4-48 2-4	1 地域医療ネットワーク推進事業	地域の開業医	20,000	19,412	В	継続
						2-13	2-12						
					(H24)	(H22)	(H23)						
		ı	•			上啟·脳卒	曲パフ		,		ı		

上段:脳卒中パス 中段:急性心筋梗塞パス

下段:糖尿病パス

 事務事業名
 医学部進学セミナー開催事業
 事業開始年度: H20
 事業終了予定年度: 「根拠法令」」
 作 組 織:地域医療推進室

 ・計画等
 根拠法令
 成 職・氏名 主事 藤瀬 かおる
 者 電話番号 076 - 225 - 1449 内線 4109

#### 事業の背景・目的

- 1 事業の目的 県内高校からの医学部進学者の増加を図るため、高校生を対象としたセミナーを開催
- 2 事業の概要

塾講師の招聘による特別講座や県内大学医学部教授・医学生による医学部への進学を誘導するための講義を実施

場所;金沢市内実施時期:8月1日(月)

対象者;医学部進学を目指す高校生・予備校生、保護者、高校・予備校教員

施策・課題の状況

施策 医師の確保と資質の向上 評価 A

課題 医師確保対策
 指標 能登北部自治体4病院における医師充足率 単位 %
 目標値 現状値
 平成24年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 H19比増 84.2 78.9 81.8 93.0 98.6

L							
				事業	費		
	(単位)	:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
I	事業費	予算		1,100	600	500	500
	尹未負	決算		600	500	497	500
I	一般	予算		1,100	600	500	500
	財源	決算		600	500	497	500
	事業費	學累計		600	1,100	1,597	2,097
				評句	<u>f</u>		
	項	目	評価	Ž	こ記の評価の	)理由	

(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役

立ったか)

事業の有効性

23年度の開催にあたって、約150名の受講があった。特 に、医学生からの学生生活についての講話や、塾講師による医学部入試の講義(小論文・面接対策)が参考になったなど、参加者から高い評価を得られた。

今後の方向性

これまでの見直し状況

 事務事業名
 寄附講座設置費
 事業開始年度
 ①H21 ②H22
 事業終了予定年度
 ②H25

 根拠法令 ・計画等
 ②石川県地域医療再生計画

作成	組織	地域医療推進室
老	職·氏名	主任主事 善光孝治
П	電話番号	076 - 225 - 1449 内線 4109

#### ①寄附講座「地域医療教育学講座」

#### 1 設置の趣旨

21年度より金沢大学医薬保健学域医学類に設けられた特別枠(H21 5人、H22~10人)の入学者を中心に、将来の地域医療を担う医師の養成とその県内定着を図っていくための方策について、金沢大学に寄附講座を設置し研究を行う。

### 2 研究テーマ

- (1)地域の医療ニーズに係る研究
- (2)地域の医療機関の連携に係る研究
- (3)在学中における地域医療の魅力を学ぶ教育に係る研究
- (4)卒業後における地域医療を担うリーダー養成に係る研究
- (5)教育指導体制のあり方に係る研究
- 3 設置期間

平成21~23年度(3年間)

4 寄附金額

各年度30,000千円

#### ②寄附講座(地域医療再生計画関連)

1 設置の趣旨

金沢大学及び金沢医科大学において、能登北部地域を中心として、地域医療のあり方をテーマに、現地での診療支援を兼ねた実地研究を伴う寄附講座を設置する。

- 2 講座数及び余額
  - 金沢大学 5講座、金沢医科大学 1講座
  - ・1講座当たり 30,000千円/年
- 3 設置期間

平成22~25年度(4年間予定)

T				施策·課題	の状況			
j	施	策	医師の確保と	:資質の向上			評価	А
Ī	果	題	医師確保対策	É				
		指標	能登北部自治	台体4病院にお	OIT OF THE TOTAL	足率	単位	%
		目標値			現状値			
		平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成	22年度	平成23年度
		H19比増	84.2	78.9	81.8		93.0	98.6
П								

			事業	費		
(単位	:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
車柴弗	予算			30,000	210,000	210,000
尹未負	決算			30,000	210,000	210,000
一般	予算			30,000	30,000	30,000
財源	決算			30,000	30,000	30,000
事業	費累計		0	30,000	240,000	450,000

評価

# 項目 評価

## 事業の有効性

### (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)

金沢大学に設置した地域医療教育学講座(平成21~23年度(3年間)の成果として、地域医療を担う医師の養成に関する「平成21~平成23年度研究報告書」の提出を受けた。

左記の評価の理由

金沢大学附属病院と金沢医科大学病院の協力のも と、現地での診療支援を兼ねた寄附講座により、常勤・ 非常勤あわせて26名の医師が能登北部地域を中心に 診療支援にあたることで、医師確保に貢献した。

### 今後の方向性

### (県民ニーズ、 繁急性、県関 与のあり方等 を踏まえ、今後 どのように取り 組むのか)

能登北部地域を中心とした医師確保対策のため、地域医療のあり方をテーマに、現地での診療支援を兼ねた実地研究を伴う6つの寄附講座を引き続き実施していく。

また、地域医療教育学講座の研究の成果として、緊急医師確保対策(別事業)による特別枠入学者の養成のあり方に関する提言を受けたことから、来年度は、特別枠入学者を対象とした地域医療研修なども金沢大学附属病院に委託して実施する。

事業開始年度 H20 事業終了予定年度 組 織 地域医療推進室 根拠法令 事務事業名 臨床研修医確保対策事業 職・氏名:主事 和田出 美和 •計画等 者 電話番号 076 - 225 - 1449 内線 4109

1 事業の目的

県内における臨床研修医や後期研修医を確保するための誘致活動等を実施

2 事業の概要

【(1)「石川の医療を担う若手医師の集い」の開催(1,400千円)

県内の臨床研修医や後期研修医としての就業を誘致するシンポジウムを開催

所:金沢市内(ホテル金沢)

実施時期:H24.2.5

対象者:医学部5年生、臨床研修医1年次生

- |(2)「臨床研修指定病院合同セミナー」への出展(360千円) 県内出身の医学生を中心に県内での臨床研修を誘致(合同セミナー:東京、名古屋、金沢で開催)
- (3)「石川県臨床研修推進協議会」の開催(40千円) 研修内容の向上、研修医の確保方策等を検討

これまでの見直し状況

			施策·課題	の状況		
施	策	医師の確保と	資質の向上		評価	А
誹	題	医師確保対策				
	指標	能登北部自治	体4病院にお		足率 単位	%
	目標値			現状値		
	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	H19比増	84.2	78.9	81.8	93.0	98.6

			事業	費		
(単位:	:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費	予算	2,000	2,000	1,800	1,800	1,800
尹未貝	決算	2,000	1,920	1,424	1,424	1,800
一般	予算	2,000	2,000	1,800	1,800	1,800
財源	決算	2,000	1,920	1,424	1,424	1,800
事業費	學累計	2,000	3,920	5,344	6,768	8,568
			=T. /1	T.		

項目 評価 左記の評価の理由 シンポジウムについては、約200名が参加し、セミナーに 事業の有効性 ついては、昨年に引き続き、名古屋、東京、金沢の3会場に 出展し、臨床研修の誘致活動を実施した。 (費用対効果 の観点も含

これら参加者に対する県内臨床研修病院のアピールと誘 A 致活動を実施するとともに、参加者の声を反映した臨床研修 病院のより良い研修プログラムの検討や、へき地医療研修実 施病院との連携体制の強化を図り、平成24年度は過去最高 の113名の臨床研修医が県内で採用された。

今後の方向性

め、この事業が

課題解決に役

立ったか)

どのように取り 組むのか)

(県民ニーズ、 繁急性、県関 かと 別き続き、シンポジウムを開催するとともに、セミナーに参 加する医学生等への誘致活動を実施するほか、臨床研修病 な志 院の指導内容の向上、研修医の確保方策等を検討する。 を踏まえ、今後が元院の指導内容の向上、研修医の確保方策等を検討する。

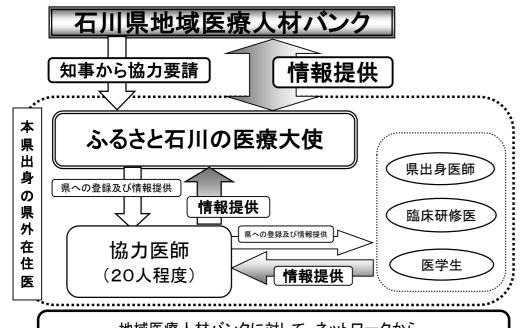
事務事業名 ふるさと石川の医療を守る人材ネットワーク推進

事業開始年度 事業終了予定年度 根拠法令 •計画等

織:地域医療推進室 職・氏名 主任主事 善光孝治 225 - 1449 内線 4109 者 電話番号 076 -

#### [目的及び概要]

県外で活躍する本県出身の医師を「医療大使」として任命し、医療大使を中心としたネットワークを通 じて、県内出身医師、臨床研修医、医学生等に県内就業を働きかける。



地域医療人材バンクに対して、ネットワークから、 県内就業の意思を有する医師などに関する情報の提供

地域医療人材バンクによる面談や勤務機関の紹介など、 就業に向けた支援

県内での就業

		施第	€・課題の状	†況		
施	策	医師の確保と資質の	り向上		評価	А
課	:題	医師確保対策				
	指標	能登北部自治体4%	病院における	る医師充足	率  単位	%
	目標値		玛	見状値		
	平成24年度	平成19年度 平成2	0年度 平成	战21年度□	F成22年度	平成23年度
	H19比増	84.2	78.9	81.8	93.0	98.6

			事業	費		
(単位:	:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
車業弗	予算			1,600	1,500	1,500
尹未貝	決算			1,600	1,066	1,260
一般	予算			1,600	1,500	1,500
財源	決算			1,600	1,500	1,260
事業費	費累計		0	1,600	2,666	3,926
			<b>宝 石</b>	T.		

# 項目 左記の評価の理由

事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役

医療大使やネットワークの方々等の参加のもと、平成24年3 月に「ふるさと石川の医療を守る集いin能登」を珠洲市にて 開催。病院視察や意見交換会、交流会を行い、能登北部地 域の医療の現状について理解を深めていただくとともに、UI ターンを希望する医師の情報を収集することができた。

平成23年度からは、東京大学医学部附属病院の臨床研修 医が、平成24年度からは、聖マリアンナ医科大学病院の臨 床研修医が、能登北部の4公立病院で地域医療研修を行う こととなった。

## 今後の方向性

立ったか)

どのように取り 組ま(のか)

(県民ニーズ、文山 能登北部地域をはじめ県内の医師不足は深刻であり、緊 緊急性、県関
・
が
た
急の医師確保が必要である。今後、立ち上げたネットワーク 与のあり方等 </br>
を活用し情報収集しながら、人材バンクと連携して県外から を踏まえ、今後がこの医師確保に努めていく。

事業開始年度: 事業終了予定年度! H20 事務事業名 女性医師就業継続支援事業 根拠法令 石川県医療計画 •計画等

組 織:地域医療推進室 職・氏名:主事 和田出 美和 者 電話番号 076 - 225 - 1449 内線 4109

#### 事業の背景・目的

医師不足の中、近年増加する女性医師が出産・育児で離職せず引き続き勤務を続けられるよ う、相談窓口として石川県女性医師支援センターを設置し、就業の継続、復職に向けた支援を図

### 事業の概要

石川県女性医師支援センター設置運営費

(委託先)(社)石川県医師会

※センターの運営にあたっては、県、県医師会、女性医師が多く勤務する病院代表からなる運営 委員会を立ち上げて協議

(1)女性医師メンターの配置

女性医師の多い県内13病院に女性医師メンターを配置し、院内における相談対応や情報収集・ 提供活動を実施

(2)女性医師支援コーディネーターの配置

センター内にコーディネーターを配置し、各メンターの活動をサポートし、メンターからの情報収集 などを通じて、女性医師が就労継続しやすくなるための対策の提案を行う

(3)女性医師支援セミナーの開催

先の見えない不安を抱えながら勤務している女性医師に対し、今後も勤務を継続してもらうため、 女性医師の目指すべきロールモデルを提示するようなセミナーを開催する

- (4)離職後の再就業や本格的な復帰に不安を抱える女性医師に対する復職研修の実施
- (5)情報収集•提供活動

女性医師に配慮する医療機関情報、子育て支援の各種サービス情報の収集・提供を行うほか、 女性医師支援につながるような各種調査を実施

これまでの見直し状況

А
_
%
更 平成23年度
98.6
J ()

事業費								
(単位:	:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
車業弗	予算		1,000	1,500	4,000	4,000		
尹未貝	決算		500	2,000	2,800	3,200		
一般	予算		500	1,000	1,000	1,000		
財源	決算		250	1,000	800	950		
事業費	費累計		500	2,500	5,300	8,500		
			亚石	E .				

#### 項目 評価 左記の評価の理由

### 事業の有効性

(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)

コーディネーターによる情報収集・提供活動、メンターの院 内活動、またセミナーの開催やパンフレット作成による広報 活動等により、院内保育所や病児保育を整備するなど、女 性医師支援策に力を入れる医療機関が増えつつあり、少し ずつではあるが県内における女性医師支援の機運が高まっ てきている。

## 今後の方向性

どのように取り 組むのか)

(県民ニーズ、グル) 医師確保の観点から女性医師に対する支援はこれからま 緊急性、県関 ・ すます必要であり、女性医師のロールモデルを提示するセミ 与のあり方等 **√**士 ナーの開催や、コーディネーター・メンターを通じた情報収 を踏まえ、今後がご集・提供及び相談活動など、支援を今後も継続していく。

事務事業名 緊急医師確保修学資金貸与事業

事業開始年度: 事業終了予定年度 H21 根拠法令

•計画等

緊急医師確保修学資金貸与条例及び同規則

織:地域医療推進室 職・氏名 主事 藤瀬 かおる 者 電話番号: 076 - 225 - 1449 内線 4109

### 事業の背景・目的

#### 趣 旨:

- ○国の緊急医師確保対策に基づき、金沢大学医学類の入学定員が平成21年度から 5人増員されたことを受けて、修学資金貸与制度を創設
- ○骨太の方針2009に基づき、平成22年度よりさらに5人増員。
- ○卒業後は金沢大学附属病院で臨床研修を行った後、県が勤務先の病院を指定する。

貸与対象者:金沢大学医学類特別枠の医学生で、本県の地域医療に貢献する強い 意思を持っている者

貸与人数:H21~29年度 各5人 H22~31年度 各5人

貸 与 額:年額2,400千円(月額20万円)

### (参考)義務年限中の勤務形態

	<i>卒 後</i>	0/5/5	0/5/8	450	5/5/2	C/T	7/	0/5/17	義務年阿
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
	臨床	研修		勤務		後期	研修	勤	務
			$\bigvee$		<b>†</b>	I 旨定医療機	関		
在学(6年間)	金沢大学			機関のうち の自治体: 定		県立中央9 金沢大学8		(3~5年	目と同じ)
	1 0 / 1 25	生の良分							
奨学金貸与	★身分:勤務	1.07371							
奨学金貸与 (月額20万円)		医療機関)							
(月額20万円)	(指定		珠洲市総合	高病院、公立	穴水総合症	<b>病院、公立</b> 宇	2出津総合病	院、	
(月額20万円)	(指定)	医療機関)						<b>詩院、</b>	
(月額20万円)	(指定)	医療機関) 立輪島病院、	<b>病院、公立</b> 3	羽咋病院、町	立富来病院	完、志雄病院	£.		
(月額20万円)	(指定 市 公 公	医療機関) 立輪島病院、 立能登総合9	病院、公立3 党、河北中央	羽咋病院、町 病院、公立	「立富来病院 松任石川中	完、志雄病院 中央病院、金	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :		
	(指定 市 公 公 公	医療機関) 立輪島病院、 立能登総合り 立つるぎ病院	病院、公立3 記、河北中央 加賀市民新	羽咋病院、町 病院、公立 病院、山中温	「立富来病院 松任石川中 品泉医療セン	完、志雄病院 中央病院、金 ルター、能美i	。 沢市立病院 市立病院、		ンター

施策・課題の状況								
	施	策	医師の確保と	:資質の向上		評価	А	
	課	題	医師確保対策	É				
		指標	能登北部自治	台体4病院には	さける医師充.	足率 単位	%	
		目標値			現状値			
		平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
		H19比增	84.2	78.9	81.8	93.0	98.6	

	事業費								
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
車業弗	予算			12,100	36,100	60,000			
尹未貝	決算			12,100	36,100	60,000			
一般	予算			12,100	24,100	36,000			
財源	決算			12,100	24,100	36,000			
事業	費累計			12,100	48,200	108,200			
			<b>≑</b> π <i>[</i> -	г*					

左記の評価の理由 項目 評価 事業の有効性

(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役

将来、地域医療に貢献する意思を持っている27名から応 B 券があり、予定している10名に貸与することができた。

今後の方向性

立ったか)

(県民ニーズ、女山 どのように取り

組むのか)

修学資金を貸与することで、将来石川県の医療に従事す を踏まえ、今後 本方針2009」という国の方針に基づいて新規貸与枠を5名か ら10名に拡大している。

事務事業名 地域医療支援医師修学資金貸与事業

事業開始年度:

事業終了予定年度 H18

根拠法令 •計画等

石川県地域医療支援医師修学資金貸与条例

織地域医療推進室 職・氏名 主事 藤瀬 かおる 者 電話番号 076 - 225 - 1449 内線 4109

#### 事業の目的

県内の医師の不足している地域における特定診療科医師の育成及び確保を図るため修学資金を貸

#### 事業の内容

将来、知事が定める医療機関において、医師として特定診療科業務に従事しようとする者(医学を 専攻する大学生又は大学院生)に対し、修学資金を貸与

対象者:大学生(5,6年生)、大学院生

特定診療科:小児科、産科、麻酔科、外科

貸 与 額:年額2,400千円以内

募集人員:新規4名

貸与期間:大学生在学中又は大学院生在学中のいずれかのうち2年以内

#### ※貸与金返還免除条件

- ①大 学 生:臨床研修修了後、原則として6年を経過するまでに、貸与期間と同期間、
  - 知事が指定する自治体病院で特定診療科の常勤医師として勤務
- ②大学院生:大学院修了後、原則として6年を経過するまでに、貸与期間と同期間、 知事が指定する自治体病院で特定診療科の常勤医師として勤務

#### 知事が指定する自治体病院

珠洲市総合病院、市立輪島病院、公立宇出津総合病院、公立穴水総合病院、 公立能登総合病院、町立富来病院、公立羽咋病院、志雄病院、能美市立病院、 小松市民病院、山中温泉医療センター、加賀市民病院

#### 貸与実績(新規貸与者)

H18-3人、H19-2人、H20-5人、H21-4人、H22-5人、H23-4人

これまでの見直し状況

			施策·課題	の状況		
施	<b>五</b> 策	医師の確保と資質の向上			評価	А
謂	関	特定診療科區	医師の確保			
	指標	小児医療に係	系る医師数		単位	人
	目標値			現状値		
	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	H18比増	-	171	_	174	-

※H18 170人

	事業費								
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
事業費	予算	14,500	9,700	14,500	12,100	14,400			
于木貝	決算	9,700	12,100	12,100	12,100	14,400			
一般	予算	14,500	9,700	14,500	12,100	14,400			
財源	決算	9,700	12,100	12,100	12,100	14,400			
事業費	學累計	17,000	29,100	41,200	53,300	67,700			

### 評価

#### 項目 評価 左記の評価の理由

## 事業の有効性

(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)

小児科医を目指す医学生1名、麻酔科医を目指す医学生 2名、外科医を目指す医学生1名に修学資金を貸与すること により、将来、県内で小児科医・麻酔科医・外科医として勤 B により、特米、県内しいアルケロ パロロコー スポート 
務を予定する者を確保できた。平成23年10月より、本制度 に基づいて能登地域に小児科医1名が勤務を行っていると ころである。

### 今後の方向性

どのように取り 組むのか)

事業開始年度: 事業終了予定年度! 組 織:地域医療推進室 事務事業名 地域医療ネットワーク推進事業 根拠法令 職・氏名:主事 三浦 奈緒美 石川県医療計画 •計画等 者 電話番号 076 - 225 - 1468 内線 4110

#### 事業の目的・概要

- ●地域の医療提供体制の確保を図るため、診療連携体制のあり方の研究や地域連携クリティカルパスの 普及・改良などに対して助成を実施。
- 1. 脳卒中診療ネットワーク
- ○県内の脳卒中診療連携体制のあり方を研究(能登北部地域の公立病院に非常勤医師を派遣)
- ○県域での研修会の開催により地域連携クリティカルパスを普及するとともに、データの分析によりパスを改
- 2. 認知症診療ネットワーク
- ○県内の認知症診療連携体制のあり方を研究(能登北部地域の公立病院に常勤医師を派遣)
- ○能登北部地域の病院関係者を対象にした研修会の開催(年5回)により、認知症の診療体制を強化
- 3. 糖尿病診療ネットワーク
- ○地域連携パスを活用した連携の強化(研修会(年8回)、パスの改良等)
- ○糖尿病診療体制の強化
- ・研修会の開催を通じた中核病院と開業医との連携強化
- ・治療中断者に対する受診勧奨など
- 4. 小児医療連携ネットワーク(H23~)
- ○三次小児医療機関(金大、医科大、中病、医療センター、医王病院等)の役割分担の在り方について調
- ○能登地域における小児医療の連携体制の強化(一人医長の支援、合同カンファレンスの開催(年1回))
- ○南加賀地域における小児医療の連携体制の強化(合同カンファレンスの開催(年1回))

これまでの見直し状況

		施策•課題	の状況			
邡	施策 医療連携体制の整備					В
記	題	医療機関連携の強化				
	指標	地域連携クリティカルパス		数	単位	医療圏- 医療機関数
	目標値		現状値			
	平成24年度	平成19年度 平成20年度	平成21年度	平成	22年度	平成23年度
	H19比增		4-35 2-4 2-13	6	−39 2−4 −13	4-48 2-4 2-12
			4 10	4	10	4 14

上段:脳卒中パス 中段: 急性心筋梗塞パス 下段:糖尿病パス

	事業費								
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
<b>車</b>	予算				15,000	20,000			
尹未須	決算				15,000	19,412			
一般	予算				0	0			
財源	決算				0				
事業費	學累計		0	0	15,000	34,412			
			亚石	П					

#### 項目 評価 左記の評価の理由 地域連携クリティカルパスの運用や検討会・研修会等を行っ 事業の有効性 た結果、パスの改良や参加医療機関等の拡大、住民への普 及拡大などの成果を得ることができた。 (費用対効果 また、糖尿病診療における診療所への栄養士の派遣や認知 B 症に関する出前講座の開催など、病院と地域の医療機関等 の観点も含 が連携して医療提供を行った。 め、この事業が 平成23年度からは、新たに小児医療についても取組みを開 課題解決に役 始し、合同カンファレンスの開催により、能登中部地域と北部 立ったか) 地域や南加賀地域の連携などが強化された。

を踏まえ、今後が冗行う。

どのように取り 組までのか)

今後の方向性

(県民ニーズ、 4)1/2 医師不足地域等においては診療連携体制の強化が重要で 緊急性、県関
「
「
上
あることから、診療連携体制の在り方の研究やクリティカルパ 与のあり方等 ・ケニスの普及・拡大、研修会の開催などに対して引き続き支援を